NRU-east
National Railway Workers' Union

ダイジェスト版 2026年
No. 379 10月22日

国鉄労働組合東日本本部
港区新橋5-15-5 交通ビル7F
発行責任者 伊藤 隆夫
編集責任者 武田 幸喜

声かけて
仲間とTUNAG
拡大へ

# 本日 LiViTに 年末手当

# 3.0ヶ月分＋10万円 申し入れる

## ＜ 支払いは12月11日(金)まで ＞

### 届けられた切実な声

- **春闘で10,000円の改善はあったが、全体的には低いまま。物価高に負けない年末手当にしてほしい。**
- **賃金が安い、仕事に魅力を感じない。業務量と給与の不釣り合い、他社への転職を検討する同僚が多い。会社の中枢を担う先輩社員の転職が目立つ。**
- **30～40代社員の給与を見る限り不安でしかないため毎年離職者が出ている。魅力ある職場にするために年末手当大幅アップしてほしい。**
- **この給料と福利厚生では、若手の離職率が高いのも納得する。**

ＬｉＶｉＴの順調な経営状況は、駅活性社員は相次ぐ輸送障害が続くなかでも適切に対応し、安全・安定輸送に努力してきたこと。開発運営社員は、接客業務など常に好感が得られるよう努力し続け信頼を高めてきたからです。

新たな事業も順調に進むなかで、コロナ禍前以上の好調な業績は、全社員の努力の結果であり、社員の努力に報いることが、会社も承知の通り離職防止にもつながります。

賃金引き上げはあっても、物価高騰が続き実質賃金は追いつかず生活は改善されていません。好調な経営状況を踏まえ社員の期待は高まっています。生活の維持・向上のためにも社員の期待に応えるべきです。

**離職者を出さないためにも切実な声をきちんと捉え信頼を高め続けている社員の努力に応えるべきだ！**

# 国労要求満額回答を強く求める！